

令和7年度第3回（定例）理事会 議 事 録

令和7年6月2日

公益財団法人こうべ市民福祉振興協会

公益財団法人こうべ市民福祉振興協会
令和7年度第3回（定例）理事会 議事録

- 1 開催日時 令和7年6月2日（月）午後3時00分から午後4時19分まで
2 理事総数 総数 7名
3 出席者
理事出席者 7名 監事出席者 2名

【代表理事】1名

会長 長田淳

【業務執行理事】2名

常務理事 仲田篤司、常務理事 黒田徹

【理事】4名

荒牧重孝、金山千広、西田勉、福井誠

【監事】2名

松山康二 中村浩一郎

- 4 欠席者 なし

5 議題

- ・第1号議案 第1号議案 令和6年度事業報告及び収支決算について
- ・第2号議案 令和7年度第2回（定時）評議員会の招集について
- ・報告事項1 令和7年度第1回評議員会決議事項（監事の就任）について
- ・報告事項2 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告について

6 議事の経過

（1）定足数の確認

事務局山本経営管理課長が、定款第34条第1項により、本理事会の定足数充足を確認した。

（2）議事録署名人の確認

事務局山本経営管理課長が、定款第35条第2項並びに理事会運営規程第13条第1項により、理事会の議事録署名人について説明し、長田会長及び監事2名（松山監事・中村監事）が議事録署名人となることを確認した。

（3）第1号議案 令和6年度事業報告及び収支決算について

まず第1号議案について、仲田常務理事及び事務局北尾経営担当課長より議案書に基づき説明が行われた。

続いて2名の監事を代表して、松山監事より監査報告が行われた。

質疑応答の後、議長（長田会長「以下、同じ」）が本議案について、承認を求めたところ、全員異議なく、原案どおり承認された。

[質疑応答]

- ・福井理事より、黒字決算ということで、コロナ禍後の定常状態に戻ったということは非常に大きく、これを維持することで今後の中期的な事業構想への取り組みが可能となった旨の意見があった。

- ・荒牧理事より、福祉体験学習の件数が前年度の3分の1である理由について質問があった。

これに対し仲田常務理事より、コロナ禍前の46件から令和6年度22件と減少した原因については不明であり、今年度の募集状況をふまえ精査すると回答したうえで、昨今の貸切りバス料金の高騰により費用面で学校側の選択肢として厳しくなっているという旨の補足があった。

また、長田会長より、福祉体験学習と防災学習を併せて体験できるような新たな取り組みも模索しており、注視していきたい旨の発言があった。

- ・西田理事より、温泉設備の修繕費及びその財源の出所について質問があった。

これに対し仲田常務理事より、1件250万円以下の修繕については指定管理料1億円の中で執行しているが、大規模な修繕については神戸市が行っており、温泉設備の修繕についてはこの決算に影響がない旨の回答があった。

- ・金山理事より、温泉の利用者数が牽引する形で、各事業者の自主事業が入村者数の増加を招いていると考える旨の意見があった。

これに対し仲田常務理事より、㈱ウエルネスサプライの毎週末のイベント企画や㈱グリーンホスピタリティーマネジメントのデイキャンプ場利用時間設定の変更等、細やかな集客努力が伺えるという旨の発言があった。

長田会長より、温泉施設は修繕のため、令和5年度下期における営業ができなかったことを踏まえつつ、コロナ禍前と比較するとまだ利用者数は戻っておらず、しあわせの村全体を見ても利用者は微減傾向の実情である旨の補足があった。

- ・西田理事より、施設規模の割に広報費が少ないと感じるが、十分な広報が出来る対策や工夫の有無について質問があった。

これに対し仲田常務理事より、資料に記載分は当協会のみでの広報費であり、運営事業体全体の数字ではないこと、また当協会においては今秋頃、しあわせの村ホームページのリニューアルを予定している旨の回答があった。

(4) 第2号議案 令和7年度第2回(定時)評議員会の招集について

第2号議案について、事務局山本経営管理課長より議案書に基づき説明が行われた。

議長が本議案について承認を求めたところ、全員異議なく、原案どおり承認された。

(5) 報告事項1 令和7年度第1回評議員会決議事項(監事の就任)について

報告事項1について、事務局山本経営管理課長より議案書に基づき報告が行われた。

(6) 報告事項2 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告について

報告事項2について、代表理事、業務執行理事を代表し仲田常務理事より議案書に基づき報告が行われた。

(7) その他

①事務局坂井事業課長より、保養センター太山寺・ラジウム温泉太山寺の運営事業者対応及び今後のあり方について説明が行われた。

[質疑応答]

- ・福井理事より、現行の太山寺運営事業者は事業継続の意向であるとのことだが、十分な利益があるのかという旨の質問、また、根拠のない請求等で当協会の損失がないように

令和 8 年 3 月末での契約終了を進めてほしい旨の意見があった。

これに対し坂井事業課長より、運営事業者の決算状況からは決して経営状況は順調には見えず、運営継続を希望する意図が分からないため、その辺りも含めたうえで契約解除に向けて代理人同士での交渉を進めている旨の回答があった。

仲田常務理事より、借地借家法における契約解除にあたっては正当な事由の有無を問われるが、協会の経営状況、太山寺運営事業単体の収支、いずれにおいても厳しく、施設の大規模改修も避けられない中、それに伴う事業収支悪化は当協会として非常に困難であるという点を中心とし、また賃料滞納により信頼関係についても破綻していることを踏まえ、正当な事由を主張していきたい旨の発言があった。

長田会長より、運営事業者が契約解除に応じなければ、先に述べた正当な事由について立証していく一方で、今後の施設のあり方としてサウンディング型市場調査の実施についても進めていくとの発言があった。

②事務局坂井事業課長より、しあわせの村における e スポーツの取り組みについて報告が行われた。

[質疑応答]

- ・福井理事より、昨秋試験的にイベントにて e スポーツの導入があったが、今後の具体的な計画について質問があった。

坂井事業課長より、今夏より村内にて常設を考えており、新たな来村者、交流の効果や測定等を行ったうえ、今後の活用を検討していくとし、また、熊本 UDe スポーツ協会顧問を務める中島氏にも相談しながら進めていきたい旨の回答があった。

- ・金山理事より、将来的な話であるが、ひよどり台団地の空き家解決に向けて提案を行っているベンチャー企業と共に、しあわせの村と総合的なコミュニティとして展開していけたら良いという旨の発言があった。

③延原運営指導担当課長より、神戸市指定障害福祉サービス事業者に対する運営指導業務における準備状況について報告が行われた。

④その他

- ・中村監事より、昨年のみらいの文化祭では、行内でも画期的なイベントとして取り上げられ、発信していく重要性を学んだほか、関わっている者の想いが繋がっていくよう、今後、事業のあり方を皆で協議できたら良いという旨の意見があった。
- ・長田会長より、シルバーカレッジについて学生が減ってきており、村のあり方を考える中でシルバーカレッジの運営も然り、今後のあり方の検討を始める必要があり、適宜報告するとの発言があった。

以上をもって理事会のすべての審議を終了したので、午後 4 時 19 分、議長が閉会を宣した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、議長及び監事が記名押印する。

令和7年6月2日

議長(会長)

長 田



監 事

松 山 康 二



監 事

中 村 浩 一 郎



定例理事会議事資料

日 時 令和7年6月2日(月)
午後3時00分

場 所 しあわせの村本館・宿泊館2階特別会議室

本書は原本と相違ないことを証明する

公益財団法人 こうべ市民福祉振興協会
会長 長 田 淳
協 理 長 田 淳

公益財団法人 こうべ市民福祉振興協会

目 次

- ・第1号議案 令和6年度事業報告及び収支決算について … 1
- ・第2号議案 令和7年度定時評議員会の招集について …20
- ・報告事項1 令和7年度第1回評議員会の決議事項（監事の選任）について …21
- ・報告事項2 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告について …22

第 1 号 議 案

令和 6 年度事業報告及び収支決算について

財政状況の改善、組織風土の変革・人材育成などの取り組みについて定めた「中期経営計画2027」（令和 5 年 9 月策定）を着実に推進するとともに、「神戸市民の福祉をまもる条例」の理念にのっとり、神戸市、事業者及び市民の三者が有する人材、資力などを総合的に活用することによって市民福祉を振興するための事業を創造・推進し、市民福祉の向上に寄与することを目的として事業を実施した。

令和 6 年度事業報告

※事業実績の〈 〉内は、令和 5 年度実績を示す。

【公益目的事業】

〔公1〕 市民の福祉意識の啓発並びに福祉活動の普及及び助長

「神戸市民の福祉をまもる条例」の理念を実現し、ソーシャルインクルージョンの実現を図るため、市民に対する福祉意識の啓発や、市民の福祉活動を振興する事業を実施した。

1 ユニバーサル社会の構築に向けた取り組み

(1) ユニバーサルデザイン（UD）の普及啓発

市民の思いやりの心を育み、福祉について学ぶための機会づくりを目的に、学校・地域団体等を対象に、障がいを理解するための体験やしあわせの村におけるあらゆる利用者に配慮した取組み等の紹介など、しあわせの村の資源を活かした「福祉体験学習」を実施した。

また、市内の小学校を対象とした「UD出前授業」などを実施した。

① 福祉体験学習 [参加者数] 658名（22団体） 〈1,841名 31団体〉

② UD出前授業 [訪問学校数] 57校 [参加者数] 3,994名 〈25校 2,356人〉

(2) こども手話講座

コミュニケーション手段としての手話を学ぶ機会を提供することを目的として、小学生を対象とした「こども手話講座」を実施した。

[実施回数] 1期・全10回 〈1期・全10回〉

[受講者数] 18人 〈19人〉

(3) 市民福祉活動支援

「チャレンジド・ドローン講習会」や「ユニバーサルスポーツ体験ラリー」など、しあわせの村の資源を活用した福祉活動に対する支援を行った。

2 健康寿命の延伸に向けた取り組み

(1) フレイル予防の推進

加齢に伴い、心身活力の低下による介護が必要になりやすい状態となることを予防する取り組みである、市民によるフレイルチェック会を神戸市より受託し実施した。

〔実施回数〕 16回 〔参加者数〕 382人 <15回・237人>

(2) 高齢者のスポーツ・文化活動の振興

高齢者の健康増進に向けて、スポーツや文化活動の機会を提供するため、「こうべ長寿祭」を神戸市とともに開催するとともに、各競技団体が選出した選手を神戸市代表選手団として「第36回全国健康福祉祭とっとり大会」に派遣したほか、「こうべシルバー合唱フェスティバル」を開催した。

① 第37回こうべ長寿祭

〔開催期間〕 4月13日～11月2日（ウォークラリー雨天中止）

〔参加者数〕 計892人 <1,242人>

美術作品214点 <193点>

② 第36回全国健康福祉祭とっとり大会

〔開催期間〕 10月19日～22日

〔神戸市代表〕 18種目130人、美術作品10点 <17種目97人、美術作品10点>

③ こうべシルバー合唱フェスティバル

〔開催日〕 10月1日 〔参加者数〕 計255人

[公2] 総合福祉ゾーン「神戸市しあわせの村」の管理運営

「神戸市しあわせの村」の指定管理者として、高齢者・障がい者をはじめとするすべての市民が、「つどい」・「楽しみ」・「学び」・「憩う」ことができるよう総合福祉ゾーンとしての管理運営の充実を図った。

	利用者数	対令和5年度比
入村者数	1,906,100人	+15,300人 (+0.8%)
施設利用者数	895,568人	+35,596人 (+4.1%)
宿泊施設	56,541人	+2,319人 (+4.3%)
温泉(※)	184,820人	+84,420人 (+84.1%)
屋内運動施設	233,182人	+7,086人 (+3.1%)
屋外運動施設	354,015人	△51,174人 (△12.6%)
研修館等	67,010人	△7,055人 (△9.5%)

(※) 令和5年度は天井補修工事・施設点検のため、10月12日～3月31日まで休業。

1 高齢者・障がい者が主役の村づくり

(1) 神戸市シルバーカレッジの運営

「再び学んで他のために」をモットーに、健康ライフ、国際交流・協力、ECOライフ、総合芸術の4つのコースの専門授業と、全コースの学生を対象とした社会貢献などの共

通授業やスポーツ授業を実施した。

また、在学生や卒業生の社会貢献活動を通じて、小学校での児童の見守りなどの学校運営支援活動や地域のリーダーとなる人材の育成に取り組んだ。

[令和6年度入学者数] 316人(うち、再入学者数 86人)<309人(うち、再入学者数 80人)>

[令和6年度在籍学生数(R6. 4. 1)] 870人 <811人>

健康ライフコース 207人 <175人>

国際交流・協力コース 154人 <143人>

ECOライフ(生活環境)コース 121人 <118人>

総合芸術コース(4専攻) 388人 <375人>

(2) 障がい者の就労支援

村内において障がい者の就労や自立・社会参加を支援するとともに、超短時間雇用制度を活用した就労などに向け、市立特別支援学校在校生の就労体験(インターンシップ)を東京大学先端科学技術研究センターと連携し、実施した。

[実施回数] 8回 <11回>

[参加人数] 6人 <8人>

(3) こころのアート展・こころのアートギャラリー

障がい者の自らを表現する機会を創出し活躍の場を広げるとともに、市民の障がい者に対する理解を深めることを目的に、芸術活動に取り組む障がい者を公募し、作品展を開催した。

また、本館・宿泊館2階の「こころのアートギャラリー」において常設展や個展を実施したほか、三宮中央通り地下通路の「サンボチカギャラリー」などしあわせの村外での企画展を開催した。

① 第13回こころのアート展

[開催期間] 12月5日～1月13日 [来場者数] 12,674人 <4,798人>

② 十人十色展 [開催回数] 5回 <5回>

③ サンボチカギャラリー展示 [開催期間] 通年

④ 「神戸旧居留地×こころのアート展2024」パネル展示

[開催期間] 11月28日～12月18日 [作品展示場所] 9カ所 <9カ所>

⑤ 神戸リハビリテーション病院特別展 [開催期間] 2月17日～3月3日

⑥ 六甲アイランド・アートフェア [開催期間] 3月7日～3月12日

(4) 障がい者事業所製品の販売支援

本館・宿泊館1階コンビニエンスストアに併設する「はっぴねすコーナー」において、市内障がい者事業所製品の販売を行った。

また、村内障がい者施設による「缶バッジ☆マグネット製作隊」の活動を支援した。

① はっぴねすコーナー売上額 5,900千円 <5,114千円>

② はっぴねすコーナー出店事業所 37団体 <35団体>

③ 缶バッジ☆缶マグネット製作隊受注実績 14,035個 <6,870個>

(5) ボランティア活動の推進

様々な世代の市民にしあわせの村においてボランティアとして活動いただき、市民福祉活動の推進を図った。

[ボランティア登録者数/活動者数]

- ① 障がい児・者向けスポーツ教室指導補助ボランティア
53人/延651人 <51人/延519人>
- ② 社会人ボランティア41人/延161人 <36人/延256人>
- ③ ユース(学生)ボランティア 49人/延263人 <35人/延158人>
- ④ 花緑ボランティア18人/延568人 <17人/延635人>

2 障がい者スポーツの振興

(1) スポーツ交流イベント

障がいのある人もない人も共にスポーツを楽しみ、相互理解を深めることを目指し、気軽にスポーツを楽しむことができるイベントを関係団体との共催で実施した。

パラスポーツ王国HYOGO & KOBE 夢プロジェクト2024(兵庫県、神戸市等共催)

[開催日] 11月3日 [参加者数] 3,210人 <3,520人>

(2) 障がい者スポーツ教室

障がい者の健康増進、心身機能の維持・向上や生きがいづくりを目的に、各種スポーツ教室を実施した。

[実施種目] 水泳、卓球、親子運動、テニス、アーチェリー

[実施回数] 水泳、卓球、親子運動 年2期

テニス 年6期

アーチェリー 年4期

[受講者数] 267人 <348人>

(3) 神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会への支援

「神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会」の開催にあたり、しあわせの村において選手をはじめとする関係者への宿泊・練習場所の提供や会場までの輸送などに関する支援を行った。

[宿泊人数] 8か国・延1,719人

3 子どもの成長支援

(1) 野外活動を通じた支援

包括連携協定を締結している(公財)神戸YMCAが行う野外活動を通じた学びや体験の機会を提供する「YMCA森の学校」への支援を行うとともに、障がいのある子どもとその家族が野外でのキャンプやレクリエーション活動を楽しみ、交流を図ることを目的とした「家族で楽しむキャンプ入門」を実施した。

① YMCA森の学校 [参加者数] 50人 <38人>

② 家族で楽しむキャンプ入門 [実施日] 11月23日, 3月22日

[参加者数] 174人<185人>

(2) のびのび運動ひろば

発達の気になる児童（小学1・2年生）とその保護者の支援として、専門家や専門機関との連携により、簡単な運動プログラムの提供や、保護者に対する専門家による講座や保護者交流の場の提供を行う「のびのび運動ひろば」を実施した。

また、これまでの参加児童の保護者を対象とした交流会を新たに実施した。

[参加者数]児童36人、保護者36人 〈児童33人、保護者33人〉

[保護者交流会]参加者数 保護者36人 〈新規〉

(3) 子育て世帯駐車料金無料化

18歳未満の子どもとともにしあわせの村を利用した場合の普通車駐車料金の無料化を神戸市の支援を受け、引き続き実施した。

[子育て世帯無料化台数] 114,090台 〈114,578台〉

4 しあわせの村の活性化

(1) しあわせの村まつり

村内事業者・施設や近隣自治会と連携し、市民の交流を促すステージや縁日、手持ち花火等で構成するイベントを開催した。

[開催日] 9月14日、15日、16日

[来場者数] 14,000人 〈14,856人〉

(2) こうべ福祉・健康フェア

市民の福祉や健康に関する意識を高めるため、神戸市や神戸市社会福祉協議会、ふれあいのまちKOBЕ・愛の輪運動推進委員会などと連携し、福祉施設や障がい者団体等によるバザーや模擬店、福祉機器の展示や子ども向けの体験イベントなどを行った。

[開催日] 10月6日 [来場者] 10,602人 〈9,401人〉

(3) ミニコンサート

公募により選ばれた演奏者によるミニコンサートをしあわせの村開村記念日及びこころの아트展に合わせ開催した。

① しあわせの村開村記念日 [開催日] 4月21日 [来場者] 461人 〈222人〉

② こころの아트展 [開催日] 12月8日、1月11日 [来場者] 810人 〈907人〉

(4) 豊かな自然環境の活用

「いやしの小径」や日本庭園をはじめとする村の公園施設を活用し、桜や紅葉のライトアップや農業体験などのイベントを通じて「自然から得られる癒やし」を提供した。

「ユニバーサル農園」においては、障がい者の機能回復等を目的として、村内の福祉施設の高齢者や障がい者、児童に野菜の栽培や収穫等の農園活動の体験機会を提供した。

① 夜桜ライトアップ

[開催期間] 令和6年3月29日～4月7日 [参加者数] 6,729人 〈6,834人〉

② 脱穀体験会 [開催日] 10月27日 [参加者数] 77人〈61人〉

③ 紅葉ライトアップ [開催期間] 11月8日～11月17日

[来場者数] 2,192人〈3,401人〉

④ イルミネーション（本館ロータリー前）〔開催期間〕12月6日～2月2日

⑤ ユニバーサル農園活動〔参加団体数〕7団体<8団体>

〔参加人数〕延1,714人<延1,942人>

(5) みらいの文化祭

官民連携によるソーシャルインクルージョンの実現に向けた取り組みやしあわせの村の活用策を検討する神戸市のプロジェクトの一環として、多様な企業によるワークショップなどを行うイベントの開催に協力した。

〔開催日〕10月26日、27日

〔来場者数〕6,500人 <新規>

(6) 大学との連携

包括連携協定を締結している神戸親和大学との連携を強化し、学生がしあわせの村を学びの場として活用し、魅力化・活性化を図るための課題解決に向けた提案を行う教育実践プロジェクトの令和7年度からの実施に向け、調整を進めた。

(7) 広報・広聴

ホームページ、SNSやプレスリリース等の様々な広報媒体や機会を活用し、しあわせの村の取り組みや魅力を効果的に発信し、来村者の増加を図った。また、現在の利用者像や利用状況等を把握し、今後の来村者増加に向けた施策に活用するため、入村者アンケート調査を実施した。

[公3] 介護保険制度の公正・公平な運営を確保するための事業

1 介護保険認定調査業務

市内全域における介護保険サービスの受給を新たに申請する市民及び要介護度の変更を申請する市民に対して訪問・調査を行う「要介護認定調査業務」を、神戸市との業務請負契約により実施した。

〔調査件数〕37,946件 <37,237件>

2 介護保険事業者運営指導業務

介護保険法に基づく市内介護保険事業者に対する運営指導業務を神戸市より受託し実施した。

〔運営指導件数〕330事業所 <301事業所>

3 障害福祉サービス事業者運営指導業務

障害者総合支援法に基づく神戸市指定障害福祉サービス事業者に対する運営指導業務の令和7年度からの受託に向け、準備を進めた。

【収益事業等】

指定管理施設に付帯する便益施設及び市民福祉施設の運営等

1 しあわせの村内便益施設の運営

① 有料駐車場

〔有料利用台数〕 212,249台 <210,635台>

〔子育て世帯無料化台数〕 114,090台 <114,578台>

② 公衆電話 〔設置台数〕 1台 <2台>

③ 屋外アドベンチャー遊具（民間事業者と連携し設置）

〔運営事業者〕 株式会社冒険の森

〔利用者数〕 14,815人 <18,158人>

※令和5年度は、安全点検のため、11月5日～1月5日まで一部コースを休止。

2 神戸市シルバーカレッジ施設の一般供用

《ホール等》 2,230人 <2,760人>

3 保養センター太山寺・ラジウム温泉太山寺の運営

〔運営事業者〕 株式会社なでしこの湯

〔利用者数〕 《宿泊》 10,247人 <8,373人> 《温泉》 173,096人 <168,050人>

【その他法人管理等】

1 人材育成

役職や勤続年数などそれぞれのキャリアステップに応じた階層別研修を通じて、組織に貢献する人材の育成に取り組んだ。

2 スマートワークの推進による業務スタイルの変革

多様な人材の確保に向け、働きやすい職場環境を整備するため、在宅勤務制度を導入するとともに、時差出勤制度を拡充した。

令和6年度貸借対照表総括表

令和7年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	13,249,462	53,392,498	△ 40,143,036
未収金	232,866,359	244,174,048	△ 11,307,689
棚卸資産	2,069,133	1,893,551	175,582
前払金	2,118,774	1,495,188	623,586
立替金	18,284,648	18,808,202	△ 523,554
流動資産合計	268,588,376	319,763,487	△ 51,175,111
2 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産普通預金	10,435,741	10,303,040	132,701
基本財産有価証券	399,564,259	399,696,960	△ 132,701
基本財産合計	410,000,000	410,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	130,062,771	123,690,563	6,372,208
基金等特定資産	291,980,744	341,764,957	△ 49,784,213
川重シルバー活動基金	100,356,023	100,618,674	△ 262,651
こうべ長寿祭事業基金	0	3,199,065	△ 3,199,065
受入保証金特定資産	17,000,000	17,000,000	0
特定資産合計	539,399,538	586,273,259	△ 46,873,721
(3) その他の固定資産			
土地	317,264,998	317,264,998	0
建物	170,150,163	192,712,071	△ 22,561,908
建物付属設備	23,147,745	31,992,096	△ 8,844,351
構築物	34,301,699	37,531,929	△ 3,230,230
什器備品	12,381,887	17,170,322	△ 4,788,435
機械及び装置	14,045,220	16,199,100	△ 2,153,880
ソフトウェア	179,668	1,807,668	△ 1,628,000
電話加入権	1,635,410	1,635,410	0
投資有価証券	3,762,880	6,020,373	△ 2,257,493
その他の固定資産合計	576,869,670	622,333,967	△ 45,464,297
固定資産合計	1,526,269,208	1,618,607,226	△ 92,338,018
資産合計	1,794,857,584	1,938,370,713	△ 143,513,129
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	126,125,347	160,314,126	△ 34,188,779
1年以内返済長期借入金	10,676,000	10,666,000	10,000
預り金	83,437,133	111,721,512	△ 28,284,379
前受金	2,448,000	1,944,000	504,000
賞与引当金	24,530,420	23,505,186	1,025,234
流動負債合計	247,216,900	308,150,824	△ 60,933,924
2 固定負債			
長期借入金	920,000,000	1,020,676,000	△ 100,676,000
受入保証金	17,000,000	17,000,000	0
退職給付引当金	130,062,771	123,690,563	6,372,208
固定負債合計	1,067,062,771	1,161,366,563	△ 94,303,792
負債合計	1,314,279,671	1,469,517,387	△ 155,237,716
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	510,356,023	510,618,674	△ 262,651
指定正味財産合計	510,356,023	510,618,674	△ 262,651
(うち基本財産への充当額)	(410,000,000)	(410,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(100,356,023)	(100,618,674)	(△ 262,651)
2 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	△ 29,778,110	△ 41,765,348	11,987,238
正味財産合計	(291,980,744)	(344,964,022)	(△ 52,983,278)
負債及び正味財産合計	480,577,913	468,853,326	11,724,587
負債及び正味財産合計	1,794,857,584	1,938,370,713	△ 143,513,129

正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	1,057,497	1,036,761	20,736
基本財産受取利息	1,057,497	1,036,761	20,736
②特定資産運用益	1,014,322	971,446	42,876
特定資産受取利息	1,014,322	971,446	42,876
③事業収益	1,276,393,052	1,223,874,382	52,518,670
受託料収入	1,117,578,297	1,065,929,592	51,648,705
参加料・受講料収入	4,076,700	1,787,530	2,289,170
協賛広告等収入	3,195,000	2,385,000	810,000
賃貸収入	51,498,082	51,353,424	144,658
使用料収入	99,299,808	101,009,239	△ 1,709,431
その他事業収入	745,165	1,409,597	△ 664,432
④受取補助金等	52,812,000	47,453,000	5,359,000
受取地方公共団体補助金	52,812,000	47,453,000	5,359,000
⑤受取負担金	57,977,208	57,884,298	92,910
施設利用負担金	57,977,208	57,884,298	92,910
⑥受取寄付金	216,012	120,847	95,165
受取寄付金	216,012	120,847	95,165
⑦雑収益	4,252,347	2,290,652	1,961,695
雑収益	4,252,347	2,290,652	1,961,695
経常収益計	1,393,722,438	1,333,631,386	60,091,052
(2) 経常費用			
①事業費	1,332,093,136	1,346,600,552	△ 14,507,416
役員報酬等	5,940,000	5,940,000	0
職員給料手当	478,699,302	482,554,878	△ 3,855,576
非常勤職員賃金	59,994,116	62,510,622	△ 2,516,506
退職給付費用	6,162,496	7,593,766	△ 1,431,270
福利厚生費	87,868,255	90,021,994	△ 2,153,739
旅費交通費	7,300,693	7,233,242	67,451
什器備品購入費	5,390,456	4,516,298	874,158
消耗品費	33,787,262	32,581,540	1,205,722
修繕費	54,100,141	49,945,363	4,154,778
印刷製本費	4,727,391	4,181,900	545,491
研修費	75,500	305,500	△ 230,000
光熱水料費	48,962,138	45,475,327	3,486,811
使用料及び賃借料	50,373,298	51,501,499	△ 1,128,201
委託費	297,644,829	304,318,768	△ 6,673,939
通信運搬費	6,055,353	6,258,795	△ 203,442
保険料	2,619,883	2,931,790	△ 311,907
広報費	4,115,563	4,166,230	△ 50,667
報償費	37,428,726	43,902,175	△ 6,473,449
減価償却費	48,078,381	53,107,846	△ 5,029,465
租税公課	74,010,856	68,969,993	5,040,863
助成金及び負担金	10,757,793	12,656,158	△ 1,898,365
支払手数料	362,998	75,199	287,799
支払利息	5,235,091	5,823,729	△ 588,638
雑費	2,402,615	27,940	2,374,675

正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増減
②管理費	40,123,655	38,700,158	1,423,497
役員報酬等	10,548,830	7,990,090	2,558,740
職員給料手当	5,407,446	4,992,910	414,536
非常勤職員賃金	2,025,571	821,059	1,204,512
退職給付費用	209,712	217,331	△ 7,619
福利厚生費	4,526,317	4,801,420	△ 275,103
旅費交通費	195,305	151,829	43,476
什器備品購入費	0	143,880	△ 143,880
印刷製本費	4,950	0	4,950
消耗品費	296,913	198,029	98,884
研修費	101,820	13,000	88,820
使用料及び賃借料	6,275,816	4,060,941	2,214,875
委託費	7,604,390	10,911,780	△ 3,307,390
通信運搬費	134,236	648,131	△ 513,895
保険料	241,070	249,620	△ 8,550
広報費	177,045	314,270	△ 137,225
報償費	32,270	83,610	△ 51,340
減価償却費	119,142	715,470	△ 596,328
租税公課	880	1,640	△ 760
助成金及び負担金	649,950	648,298	1,652
支払手数料	1,441,492	1,652,350	△ 210,858
交際費	91,500	74,500	17,000
雑費	39,000	10,000	29,000
経常費用計	1,372,216,791	1,385,300,710	△ 13,083,919
評価損益等調整前当期経常増減額	21,505,647	△ 51,669,324	73,174,971
当期経常増減額	21,505,647	△ 51,669,324	73,174,971
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
受取地方公共団体補助金	0	11,134,000	△ 11,134,000
受取寄附金振替額	0	61,862,404	△ 61,862,404
過年度収益	0	102,222	△ 102,222
経常外収益計	0	73,098,626	△ 73,098,626
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	2,355,609	402,601	1,953,008
こうべ医療者応援ファンド事務費	0	9,470,068	△ 9,470,068
助成金及び負担金	0	126,845,000	△ 126,845,000
経常外費用計	2,355,609	136,717,669	△ 134,362,060
当期経常外増減額	△ 2,355,609	△ 63,619,043	61,263,434
税引前当期一般正味財産増減額	19,150,038	△ 115,288,367	134,438,405
法人税・住民税及び事業税	7,162,800	6,880,000	282,800
当期一般正味財産増減額	11,987,238	△ 122,168,367	134,155,605
一般正味財産期首残高	△ 41,765,348	80,403,019	△ 122,168,367
一般正味財産期末残高	△ 29,778,110	△ 41,765,348	11,987,238
II 指定正味財産増減の部			
寄付金収入		1,106	△ 1,106
基本財産運用益	1,057,497	1,036,761	20,736
特定資産運用益	37,349	380,722	△ 343,373
一般正味財産への振替額	△ 1,357,497	△ 63,199,165	61,841,668
当期指定正味財産増減額	△ 262,651	△ 61,780,576	61,517,925
指定正味財産期首残高	510,618,674	572,399,250	△ 61,780,576
指定正味財産期末残高	510,356,023	510,618,674	△ 262,651
III 正味財産期末残高	480,577,913	468,853,326	11,724,587

正味財産増減計算書内訳書
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位: 円)

科 目	公益目的事業会計					収益事業等会計		法人会計	合計
	公1	公2	公3	共通	小計	収1	小計		
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
①基本財産運用益								1,057,497	1,057,497
基本財産受取利息								1,057,497	1,057,497
②特定資産運用益		529,533			529,533			484,789	1,014,322
特定資産受取利息		529,533			529,533			484,789	1,014,322
③事業収益	45,799,187	413,530,479	367,678,454		827,008,120	449,384,932	449,384,932		1,276,393,052
受託料収入	42,275,687	409,749,499	367,678,454		819,703,640	297,874,657	297,874,657		1,117,578,297
参加料・受託料収入	996,500	3,080,200			4,076,700				4,076,700
協賛広告等収入	2,515,000	680,000			3,195,000				3,195,000
賃貸収入						51,498,082	51,498,082		51,498,082
使用料収入						99,299,808	99,299,808		99,299,808
その他事業収入	12,000	20,780			32,780	712,385	712,385		745,165
④受取補助金等	9,559,000				9,559,000			43,253,000	52,812,000
受取地方公共団体補助金	9,559,000				9,559,000			43,253,000	52,812,000
⑤受取負担金		458,700			458,700	57,518,508	57,518,508		57,977,208
施設利用負担金		458,700			458,700	57,518,508	57,518,508		57,977,208
⑥受取寄付金		216,012			216,012				216,012
受取寄付金		216,012			216,012				216,012
⑦雑収益	5,382	495,151			500,533	3,411,533	3,411,533	340,281	4,252,347
雑収益	5,382	495,151			500,533	3,411,533	3,411,533	340,281	4,252,347
経常収益計	55,363,569	415,229,875	367,678,454		838,271,898	510,314,973	510,314,973	45,135,567	1,393,722,438
(2) 経常費用									
①事業費	65,905,948	431,423,311	387,171,741		884,501,000	447,592,136	447,592,136		1,332,093,136
役員報酬等		5,940,000			5,940,000				5,940,000
職員給料手当	38,467,465	115,542,244	257,546,460		411,556,169	67,143,133	67,143,133		478,699,302
非常勤職員賃金	3,420,745	19,562,767	10,535,068		33,518,580	26,475,536	26,475,536		59,994,116
退職給付費用	1,149,049	2,509,959	510,779		4,169,787	1,992,709	1,992,709		6,162,496
福利厚生費	6,974,332	22,297,398	43,272,150		72,543,880	15,324,375	15,324,375		87,868,255
旅費交通費	449,970	1,252,276	5,529,831		7,232,077	68,616	68,616		7,300,693
什器備品購入費	739,045	2,385,456	536,078		3,660,579	1,729,877	1,729,877		5,390,456
消耗品費	469,506	13,783,113	4,802,148		19,054,767	14,732,495	14,732,495		33,787,262
修繕費		16,521,809	1,215,527		17,737,336	36,362,805	36,362,805		54,100,141
印刷製本費	821,130	3,243,234	180,400		4,244,764	482,627	482,627		4,727,391
研修費		30,175	4,500		34,675	40,825	40,825		75,500
光熱水料費		29,501,291			29,501,291	19,460,847	19,460,847		48,962,138
使用料及び賃借料	1,570,349	7,777,938	25,786,853		35,135,140	15,238,158	15,238,158		50,373,298
委託費	4,630,348	121,762,914	3,324,617		129,717,879	167,926,950	167,926,950		297,644,829
通信運搬費	497,262	1,724,413	3,071,789		5,293,464	761,889	761,889		6,055,353
保険料	100,355	424,534	466,542		991,431	1,628,452	1,628,452		2,619,883
広報費		1,935,117	1,086,030		3,021,147	1,094,416	1,094,416		4,115,563
報償費	1,757,554	35,249,697			37,007,251	421,475	421,475		37,428,726
減価償却費		4,724,175	706,929		5,431,104	42,647,277	42,647,277		48,078,381
租税公課	3,251,500	18,145,399	28,088,600		49,485,499	24,525,357	24,525,357		74,010,856
助成金及び負担金	1,407,396	7,060,952	452,350		8,920,698	1,837,095	1,837,095		10,757,793
支払手数料	199,942	48,450	55,090		303,482	59,516	59,516		362,998
支払利息						5,235,091	5,235,091		5,235,091
雑費						2,402,615	2,402,615		2,402,615

正味財産増減計算書内訳書
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計					収益事業等会計		法人会計	合計
	公1	公2	公3	共通	小計	収1	小計		
②管理費								40,123,655	40,123,655
役員報酬等								10,548,830	10,548,830
職員給料手当								5,407,446	5,407,446
非常勤職員賃金								2,025,571	2,025,571
退職給付費用								209,712	209,712
福利厚生費								4,526,317	4,526,317
旅費交通費								195,305	195,305
印刷製本費								4,950	4,950
消耗品費								296,913	296,913
研修費								101,820	101,820
使用料及び賃借料								6,275,816	6,275,816
委託費								7,604,390	7,604,390
通信運搬費								134,236	134,236
保険料								241,070	241,070
広報費								177,045	177,045
報償費								32,270	32,270
減価償却費								119,142	119,142
租税公課								880	880
助成金及び負担金								649,950	649,950
支払手数料								1,441,492	1,441,492
交際費								91,500	91,500
雑費								39,000	39,000
経常費用計	65,905,948	431,423,311	387,171,741		884,501,000	447,592,136	447,592,136	40,123,655	1,372,216,791
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 10,542,379	△ 16,193,436	△ 19,493,287		△ 46,229,102	62,722,837	62,722,837	5,011,912	21,505,647
当期経常増減額	△ 10,542,379	△ 16,193,436	△ 19,493,287		△ 46,229,102	62,722,837	62,722,837	5,011,912	21,505,647
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
経常外収益計									
(2) 経常外費用									
固定資産除却損	1,551,001	804,608			2,355,609				2,355,609
経常外費用計	1,551,001	804,608			2,355,609				2,355,609
当期経常外増減額	△ 1,551,001	△ 804,608			△ 2,355,609				△ 2,355,609
他会計振替額				24,620,512	24,620,512	△ 24,620,512	△ 24,620,512		
税引前当期一般正味財産増減額	△ 12,093,380	△ 16,998,044	△ 19,493,287	24,620,512	△ 23,964,199	38,102,325	38,102,325	5,011,912	19,150,038
法人税・住民税及び事業税						7,162,800	7,162,800		7,162,800
当期一般正味財産増減額	△ 12,093,380	△ 16,998,044	△ 19,493,287	24,620,512	△ 23,964,199	30,939,525	30,939,525	5,011,912	11,987,238
一般正味財産期首残高									△ 41,765,348
一般正味財産期末残高									△ 29,778,110
II 指定正味財産増減の部									
寄付金収入								1,057,497	1,057,497
基本財産運用益									37,349
特定資産運用益		37,349			37,349				
一般正味財産への振替額		△ 300,000			△ 300,000			△ 1,057,497	△ 1,357,497
当期指定正味財産増減額		△ 262,651			△ 262,651				△ 262,651
指定正味財産期首残高									510,618,574
指定正味財産期末残高									510,356,023
III 正味財産期末残高									480,577,913

【財務諸表に対する注記】

1 継続事業の前提に関する注記

該当する事項はない。

2 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券は、償却原価法(定額法)を採用している。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

先入先出法による原価法を採用している。

(3) 固定資産の減価償却の方法

定額法を採用している。

(4) 引当金の計上基準

① 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。なお、退職給付債務は、自己都合期末要支給額に基づいて計算している。

② 賞与引当金

職員に対する賞与の支給に充てるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
有価証券	399,696,960		132,701	399,564,259
現金・預金	10,303,040	132,701		10,435,741
小計	410,000,000	132,701	132,701	410,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	123,690,563	6,372,208	0	130,062,771
基金等特定資産	341,764,957	215,787	50,000,000	291,980,744
川重シルバー活動基金	100,618,674	152,691	415,342	100,356,023
こうべ長寿祭事業基金	3,199,065		3,199,065	0
受入保証金特定資産	17,000,000			17,000,000
小計	586,273,259	6,740,686	53,614,407	539,399,538
合計	996,273,259	6,873,387	53,747,108	949,399,538

4 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
有価証券	399,564,259	399,564,259	0	0
現金・預金	10,435,741	10,435,741	0	0
小計	410,000,000	410,000,000	0	0
特定資産				
退職給付引当資産	130,062,771	0	0	130,062,771
基金等特定資産	291,980,744	0	291,980,744	0
川重シルバー活動基金	100,356,023	100,356,023	0	0
受入保証金特定資産	17,000,000	0	0	17,000,000
小計	539,399,538	100,356,023	291,980,744	147,062,771
合計	949,399,538	510,356,023	291,980,744	147,062,771

5 担保に供している資産

土地317,264,998円（帳簿価額）及び建物等228,979,577円（帳簿価額）は長期借入金10,676,000円（みなと銀行）の担保に供している。

6 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	期末償却累計額	当期末残高
建物	761,112,444	590,962,281	170,150,163
建物付属設備	473,698,771	450,551,026	23,147,745
構築物	230,776,162	196,474,463	34,301,699
什器備品	145,163,429	132,781,542	12,381,887
機械装置	138,780,376	124,735,156	14,045,220
ソフトウェア	14,788,950	14,609,282	179,668
合計	1,764,320,132	1,510,113,750	254,206,382

7 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

当期については、該当するものはない。

8 保証債務等の偶発債務

当期については、該当するものはない。

9 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	帳簿価額	時価	評価損益
西日本高速道路株式会社第29回社債	100,139,150	99,610,000	△ 529,150
西日本高速道路株式会社第33回社債	100,027,005	100,153,000	125,995
114回住宅金融支援機構債券	103,045,260	101,110,000	△ 1,935,260
第123回鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券	100,115,724	96,170,000	△ 3,945,724
第191回共同発行市場公募地方債	100,404,146	96,200,000	△ 4,204,146
第150回日本高速道路保有・債券返済機構債券	94,566,281	94,521,000	△ 45,281
合 計	598,297,566	587,764,000	△ 10,533,566

10 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上 の記載区分
補助金 公益財団法人こうべ市民福祉振興協会補助金	神戸市	0	52,812,000	52,812,000	0	—
合 計		0	52,812,000	52,812,000	0	

11 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	1,057,497
特定資産受取利息の使用による振替額	300,000
合 計	1,357,497

12 関連当事者との取引内容

該当する事項はない。

13 重要な後発事象

該当する事項はない。

14 その他

該当する事項はない。

【付属明細書】

1 基本財産及び特定資産の明細

「財務諸表に対する注記」に記載のため省略。

2 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	23,505,186	24,530,420	23,505,186		24,530,420
退職給付引当金	123,690,563	6,372,208	0		130,062,771
合計	147,195,749	30,902,628	23,505,186	0	154,593,191

財 産 目 録

令和7年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金預金			13,249,462
現金	手元保管	小口現金、つり銭準備金ほか	955,486
普通預金	三井住友銀行神戸公務部	運転資金	5,561,460
	三井住友銀行鈴蘭台支店		3,928,705
	みなと銀行本店営業部		2,803,811
	三井住友銀行鈴蘭台支店	市使用料等収納	0
	三井住友銀行鈴蘭台支店共同事業体JV		0
未収金		事業受託料ほか	232,866,359
棚卸資産		しあわせの村駐車回数券、切手ほか	2,069,133
前払金		保険料、プリンター保守料ほか	2,118,774
立替金		しあわせの村共同事業体構成員費用立替ほか	18,284,648
流動資産合計			268,588,376
(固定資産)			
基本財産			410,000,000
基本財産普通預金	三井住友銀行神戸公務部	必要不可欠財産であり、運用益を管理費の財源として	10,435,741
基本財産有価証券	西日本高速道路株式会社第29回社債	使用している	98,641,769
	西日本高速道路株式会社第33回社債		99,874,193
	114回住宅金融支援機構債券		101,225,051
	第123回鉄道建設・運輸施設整備支援機構		99,823,246
特定資産			539,399,538
退職給付引当資産			130,062,771
普通預金	三井住友銀行神戸公務部	退職給付引当金見合資産	29,658,625
投資有価証券	第191回共同発行市場公募地方債	運用益を管理費に充当	100,404,146
基金等特定資産			291,980,744
普通預金	三井住友銀行神戸公務部	市民福祉事業の実施及び財源不足に充当	242,128,039
普通預金	三井住友銀行鈴蘭台支店		49,852,705
川重シルバー活動基金			100,356,023
普通預金	三井住友銀行神戸公務部	公益目的保有財産	5,789,742
投資有価証券	第150回日本高速道路保有・債券返済機構債券	運用益を公益目的事業の財源として使用	94,566,281
受入保証金特定資産			17,000,000
普通預金	三井住友銀行鈴蘭台支店	太山寺契約保証金	17,000,000
その他の固定資産			576,869,670
土地			317,264,998
	保養センター太山寺 (神戸市西区伊川谷町前開270番地の1、 3,599.02㎡)	収益事業の用に供している	76,668,958
	ラジウム温泉太山寺 (神戸市西区伊川谷町前開273番地の1、 4,070.67㎡)		240,596,040
建物			170,150,163
	保養センター太山寺 (延床1,959.99㎡、鉄筋コンクリート造瓦葺 2階建)	収益事業の用に供している	89,319,336
	ラジウム温泉太山寺 (延床1,405.43㎡、鉄筋コンクリート造2階 建)	収益事業の用に供している	75,781,041
	しあわせの村内直売所	収益事業の用に供している	2,283,509
	しあわせの村内本館1階改修工事	公益目的保有財産として公益目的事業の用に供している	2,766,277
建物付属設備			23,147,745
	太山寺機械設備ほか	収益事業の用に供している	21,744,645
	しあわせの村内歩行誘導ソフトマット敷設工事ほか	公益目的保有財産として公益目的事業の用に供している	1,403,095
	コンビニ開設設備ほか	収益事業の用に供している	3
	勤怠管理システム配線設備	管理運営の用に供している	2
構築物			34,301,699
	太山寺橋梁、擁壁ほか	収益事業の用に供している	27,748,228
	開村30周年樹木、しあわせの村掲示板ほか	公益目的保有財産として公益目的事業の用に供している	660,268
	しあわせの村テニスコートナイター設備ほか	収益事業の用に供している	5,893,203

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
什器備品			12,381,887
	白杖認識システムほか	公益目的保有財産として公益目的事業の用に供している	3,848,540
	しあわせの村内展示絵画ほか	収益事業の用に供している	2,598,613
	(調査指導課)空気清浄機、シュレッダーほか	公益目的保有財産として公益目的事業の用に供している	1,357,887
	ネットワーク管理機器ほか	管理運営の用に供している	79,796
	ラジウム温泉太山寺循環ポンプほか	収益事業の用に供している	341,107
	しあわせの村駐車場システム機器ほか	収益事業の用に供している	4,155,944
機械及び装置			14,045,220
	ラジウム温泉太山寺ろ過装置ほか	収益事業の用に供している	14,045,220
ソフトウェア			179,668
	いやしの小径リーフレット版下データ	公益目的保有財産として公益目的事業の用に供している	76,358
	就業管理システム	収益事業の用に供している	103,309
		管理運営の用に供している	1
電話加入権		管理運営の用に供している	1,635,410
投資有価証券			3,762,880
	西日本高速道路株式会社第29回社債	運用益を管理費の財源として使用	1,497,381
	西日本高速道路株式会社第33回社債		152,812
	114回住宅金融支援機構債券		1,820,209
	第123回鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券		292,478
固定資産合計			1,526,269,208
資産合計			1,794,857,584
(流動負債)			
未払金		税金ほか各種事業費	126,125,347
1年以内返済長期借入金	みなと銀行本店営業部	太山寺改修工事資金	10,676,000
預り金		しあわせの村共同事業体構成員の立替返金分	83,437,133
前受金		グループわ専用定期券発行料金	2,448,000
賞与引当金		職員の賞与引当金	24,530,420
流動負債合計			247,216,900
(固定負債)			
長期借入金	神戸市	サン舞子マンション用地費・建設費資金	920,000,000
受入保証金		太山寺契約保証金	17,000,000
退職給付引当金		職員の退職給付引当金	130,062,771
固定負債合計			1,067,062,771
負債合計			1,314,279,671
正味財産			480,577,913

監 査 報 告 書

公益財団法人こうべ市民福祉振興協会

会 長 長 田 淳 殿

令和7年5月28日

公益財団法人こうべ市民福祉振興協会

監 事 松 山 康 二



公益財団法人こうべ市民福祉振興協会

監 事 中 村 浩 一 郎



私たち監事は、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの事業年度における会計及び業務の監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、定款に従い、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその付属明細書並びに財産目録について監査を実施いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその付属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその付属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び収支の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

第 2 号 議 案

令和 7 年度第 2 回（定時）評議員会の招集について

評議員会運営規程第 4 条第 1 項の規定に基づき、評議員会を開催する。

（開催日時）

令和 7 年 6 月 20 日（金）午前 10 時 00 分から

（開催場所・方法）

しあわせの村本館・宿泊館 2 階特別会議室 オンライン併催

（会議の目的）

【決議事項】

- （1）令和 6 年度計算書類等の承認について
- （2）理事・監事の選任について

【報告事項】

- （1）令和 6 年度事業報告について

報告事項 1

令和7年度第1回評議員会決議事項（監事の就任）について

令和7年度第1回評議員会（決議の省略にて実施 令和7年5月14日付）において、定款第21条第1項第2号に基づく監事について、定款第22条第1項の規定に基づき、新たな監事が下記のとおり選任された。

選任された監事

氏 名	現 職 名	任 期
松山 康二	公認会計士	令和7年5月15日から 令和7年度定時評議員会 終結時まで

任期：松山監事は瀬尾監事の任期を引継ぎ、就任時より令和7年度定時評議員会終結まで

（参考）辞任された評議員

氏 名	職 名 等	辞任日
瀬尾 文洋	税理士	令和7年5月14日付 辞 任

報告事項 2

代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告について

報告者

代表理事（会長） 長田 淳

業務執行理事（常務理事） 仲田 篤司

業務執行理事（常務理事） 黒田 徹

一般法人法第91条第2項（同法第197条において準用する第91条2項）及び定款第23条第5項の規定に基づく代表理事及び代表理事以外の業務執行理事の自己の職務の執行状況に関する報告は下記のとおりである。

記

年 月	主な執行・決裁事項等	長田 会長	仲田 常務理事	黒田 常務理事
令和7年3月	神戸在宅医療・介護推進財団理事会 * (24日)		○	
	しあわせの村運営共同事業体運営委員会 (24日)	○	○	
	シルバーカレッジ卒業式 (25日)	○	○	○
	退職・転出者辞令交付式 (31日)	○	○	○
令和7年4月	採用・転入者辞令交付式 (1日)	○	○	○
	シルバーカレッジ入学式 (6日)	○	○	○
令和7年5月	第21回こどもフェスタ * (10日雨天順延, 24日雨天中止)	○	○	
	グループわ総会 * (24日)			○
	障がい者野球大会開会式 * (17日 ※雨天中止)		○	
	ボランティア表彰式 (25日)	○	○	
令和7年6月	令和7年度定例理事会(2日)	○	○	○
随時開催	幹部会(2回)・しあわせの村2課連絡調整会議(2回)	○	○	○
	契約事務審査委員会(3回)		○	

(報告期間：令和7年3月20日から令和7年6月2日)

以上

令和6年度事業体系及び決算概要

(単位：百万円)

事業区分・事業	R6 決算	R5 決算	差異
公益目的事業会計			
公1 市民の福祉意識の啓発並びに福祉活動の普及及び助長			
1 ユニバーサル社会の構築に向けた取り組み（ユニバーサルデザイン[UD]の普及啓発、こども手話講座、市民福祉活動支援）			
2 健康寿命の延伸に向けた取り組み（フレイル予防の推進、高齢者のスポーツ・文化活動の振興）			
公1 事業経常収益計	55	70	△ 15
公1 事業経常費用計	66	86	△ 20
公1 事業経常損益計	△ 11	△ 16	5
公2 総合福祉ゾーン「神戸市しあわせの村」の管理運営			
1 高齢者・障がい者が主役の村づくり (神戸市シルバーカレッジの運営、障がい者の就労支援、 こころのアート展・こころのアートギャラリー、障がい者事業所製品の販売支援、ボランティア活動の推進)			
2 障がい者スポーツの振興（スポーツ交流イベント、障がい者スポーツ教室、神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会への支援）			
3 すべての子どもの成長支援（野外活動を通じた支援、のびのび運動ひろば、子育て世帯駐車料金無料化）			
4 しあわせの村の活性化 (しあわせの村まつり、こうべ福祉・健康フェア、ミニコンサート、豊かな自然環境の活用、みらいの文化祭、大学との連携、広報・広聴)			
公2 事業経常収益計	415	364	51
公2 事業経常費用計	431	448	△ 17
公2 事業経常損益計	△ 16	△ 84	67
公3 介護保険制度の公正・公平な運営を確保するための事業			
1 介護保険認定調査業務			
2 介護保険事業者運営指導業務			
公3 事業経常収益計	368	361	6
公3 事業経常費用計	387	384	3
公3 事業経常損益計	△ 19	△ 23	3
公益目的事業会計経常収益計	838	796	42
公益目的事業会計経常費用計	885	918	△ 34
公益目的事業会計経常損益計	△ 46	△ 122	76
収益事業等会計			
収1 指定管理施設に付帯する便益施設及び市民福祉施設の運営等			
1 しあわせの村内便益施設等の運営（駐車場、公衆電話、屋外アドベンチャー遊具）			
2 神戸市シルバーカレッジ施設の一般供用			
3 保養センター太山寺・ラジウム温泉太山寺の運営			
収益事業等会計経常収益計	510	494	16
収益事業等会計経常費用計	448	429	19
収益事業等会計経常損益計	63	65	△ 3
法人会計			
法人会計経常収益計	45	44	1
法人会計経常費用計	40	39	1
法人会計経常損益計	5	5	△ 0
当期経常増減額	22	△ 52	73
当期経常外増減額	△ 2	△ 64	61
法人税等	7	7	0
当期一般正味財産増減額	12	△ 122	134
当期指定正味財産増減額	△ 0	△ 62	62
正味財産増減額	12	△ 184	196
正味財産期末残高	481	469	12

○公益目的事業比率

A 公益経常費用計	885百万円
B 経常費用計	1,372百万円
A/B	64.5%

○収支相償

A 公益目的事業経常損益	△ 46百万円
B 収益事業利益(50%相当)繰入額	25百万円
A+B	△ 22百万円

資金収支計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

収入の部		支出の部	
科目	金額		金額
公益目的事業会計			
(公1)			
①事業収入	3,523,500	①福祉啓発事業費	44,759,522
福祉啓発事業収入	50,000	福祉意識啓発事業費	11,254,681
市民福祉事業収入	90,000	福祉活動振興事業費	908,952
長寿祭事業収入	3,383,500	市民福祉事業費	32,595,889
②受託等収入	51,834,687	②長寿祭事業費	19,755,648
長寿祭事業受託収入	6,000,000	長寿祭事業費	19,755,648
地方公共団体補助金収入	9,559,000	③特定資産取得支出	1,149,049
指定管理料収入	33,042,277	退職給付引当資産取得支出	1,149,049
受託事業収入	3,233,410		
③雑収入	5,382		
雑収入	5,382		
④特定資産取崩収入	3,199,065		
長寿祭基金取崩収入	3,199,065		
(公1) 当期収入合計	58,562,634	(公1) 当期支出合計	65,664,219
		(公1) 当期収支差	△ 7,101,585
(公2)			
①事業収入	3,780,980	①しあわせの村事業費	428,739,920
しあわせの村公益事業収入	3,780,980	シルバーカレッジ事業費	149,239,566
②受託等収入	409,749,499	市民交流事業費	70,124,962
しあわせの村指定管理料収入	409,749,499	園地管理費	68,955,339
③寄付金収入	216,012	しあわせの村管理事業費	139,979,073
寄付金収入	216,012	UD整備事業費	440,980
④負担金収入	458,700	②特定資産取得支出	2,878,437
負担金収入	458,700	退職給付引当資産取得支出	2,509,959
⑤雑収入	1,177,375	基金等特定資産取得支出	368,478
雑収入	1,177,375		
⑥特定資産取崩収入	50,000,000		
基金等特定資産取崩収入	50,000,000		
(公2) 当期収入合計	465,382,566	(公2) 当期支出合計	431,618,357
		(公2) 当期収支差	33,764,209
(公3)			
①受託等収入	367,678,454	①介護保険業務受託事業費	385,341,986
要介護認定調査事業受託収入	337,681,454	要介護認定調査事業費	355,179,427
運営指導事業受託収入	29,997,000	介護事業者運営指導事業費	30,162,559
		②特定資産取得支出	510,779
		退職給付引当資産取得支出	510,779
(公3) 当期収入合計	367,678,454	(公3) 当期支出合計	385,852,765
		(公3) 当期収支差	△ 18,174,311
(公共)			
①繰入金収入	24,620,512		
収益事業等会計繰入金収入	24,620,512		
(公共) 当期収入合計	24,620,512	(公共) 当期支出合計	0
		(公共) 当期収支差	24,620,512
公益目的事業会計当期収入合計	916,244,166	公益目的事業会計当期支出合計	883,135,341
		公益目的事業会計当期収支差	33,108,825

(単位：円)

収入の部		支出の部	
科目	金額		金額
収益事業等会計			
①事業収入	151,510,275	①市民福祉施設運営事業費	52,212,046
太山寺事業収入	51,498,082	太山寺事業費	47,201,499
しあわせの村収益事業収入	100,012,193	サン舞子マンション事業費	5,010,547
②受託等収入	297,874,657	②しあわせの村事業費	353,044,915
しあわせの村指定管理料収入	297,874,657	企画事業費	45,827,713
③負担金収入	57,408,150	園地管理費	96,381,880
駐車料金減免負担金	57,408,150	しあわせの村管理事業費	210,835,322
④雑収入	3,521,891	③繰入金支出	24,620,512
雑収入	3,521,891	公益目的事業会計繰入金支出	24,620,512
		④特定資産取得支出	1,992,709
		退職給付引当資産取得支出	1,992,709
		⑤借入金返済支出	100,666,000
		太山寺借入金返済支出	10,666,000
		サン舞子借入金返済支出	90,000,000
		⑥法人税等支出	7,162,800
		法人税・住民税及び事業税	7,162,800
収益事業等会計当期収入合計	510,314,973	収益事業等会計当期支出合計	539,698,982
		収益事業等会計当期収支差	△ 29,384,009
法人会計			
①基本財産運用収入	1,057,497	①管理費	40,289,699
基本財産利息収入	1,057,497	管理費	40,289,699
②受託等収入	43,253,000	②特定資産取得支出	209,712
地方公共団体補助金収入	43,253,000	退職給付引当資産取得支出	209,712
③雑収入	850,894		
雑収入	850,894		
④有価証券償還収入	2,231,669		
有価証券償還収入	2,231,669		
法人会計当期収入合計	47,393,060	法人会計当期支出合計	40,499,411
		法人会計当期収支差	6,893,649
当期収入合計	1,473,952,199	当期支出合計	1,463,333,734
		当期収支差	10,618,465
		前期繰越収支差額	43,890,298
		次期繰越収支差額	54,508,763

資金収支計算書(対予算比較)

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科目	6予算	6決算	差異
公益目的事業会計			
(公1)			
①事業収入	4,920,000	3,523,500	△ 1,396,500
②受託等収入	52,556,000	51,834,687	△ 721,313
③雑収入	0	5,382	5,382
④特定資産取崩収入	0	3,199,065	3,199,065
(公1) 当期収入合計	57,476,000	58,562,634	1,086,634
①福祉啓発事業費	55,910,000	44,759,522	△ 11,150,478
②長寿祭事業費	19,345,000	19,755,648	410,648
③特定資産取得支出	1,130,000	1,149,049	19,049
(公1) 当期支出合計	76,385,000	65,664,219	△ 10,720,781
(公1) 当期収支差	△ 18,909,000	△ 7,101,585	11,807,415
(公2)			
①事業収入	5,589,000	3,780,980	△ 1,808,020
②受託等収入	424,747,000	409,749,499	△ 14,997,501
③寄附金収入	3,000	216,012	213,012
④負担金収入	500,000	458,700	△ 41,300
⑤雑収入	983,000	1,177,375	194,375
⑥特定資産取崩収入	30,000,000	50,000,000	20,000,000
(公2) 当期収入合計	461,822,000	465,382,566	3,560,566
①しあわせの村事業費	448,385,000	428,739,920	△ 19,645,080
②特定資産取得支出	2,286,000	2,878,437	592,437
(公2) 当期支出合計	450,671,000	431,618,357	△ 19,052,643
(公2) 当期収支差	11,151,000	33,764,209	22,613,209
(公3)			
①受託等収入	374,391,000	367,678,454	△ 6,712,546
(公3) 当期収入合計	374,391,000	367,678,454	△ 6,712,546
①介護保険業務受託事業費	400,525,000	385,341,986	△ 15,183,014
②特定資産取得支出	808,000	510,779	△ 297,221
(公3) 当期支出合計	401,333,000	385,852,765	△ 15,480,235
(公3) 当期収支差	△ 26,942,000	△ 18,174,311	8,767,689
(公共)			
①繰入金収入	30,787,000	24,620,512	△ 6,166,488
(公共) 当期収入合計	30,787,000	24,620,512	△ 6,166,488
(公共) 当期支出合計	0	0	0
(公共) 当期収支差	30,787,000	24,620,512	△ 6,166,488
公益目的事業会計当期収入合計	924,476,000	916,244,166	△ 8,231,834
公益目的事業会計当期支出合計	928,389,000	883,135,341	△ 45,253,659
公益目的事業会計当期収支差	△ 3,913,000	33,108,825	37,021,825

(単位：円)

科目		6予算	6決算	差異
収益事業等会計				
	①事業収入	154,218,000	151,510,275	△ 2,707,725
	②受託等収入	273,401,000	297,874,657	24,473,657
	③負債金収入	58,771,000	57,408,150	△ 1,362,850
	④雑収入	1,146,000	3,521,891	2,375,891
	⑤特定資産取崩収入	0	0	0
	収益事業等会計当期収入合計	487,536,000	510,314,973	22,778,973
	①市民福祉施設運営事業費	43,350,000	52,212,046	8,862,046
	②しあわせの村事業費	330,083,000	353,044,915	22,961,915
	③繰入金支出	30,787,000	24,620,512	△ 6,166,488
	④特定資産取得支出	1,332,000	1,992,709	660,709
	⑤借入金返済支出	100,666,000	100,666,000	0
	⑥法人税等支出	10,163,000	7,162,800	△ 3,000,200
	収益事業等会計当期支出合計	516,381,000	539,698,982	23,317,982
	収益事業等会計当期収支差	△ 28,845,000	△ 29,384,009	△ 539,009
法人会計				
	①基本財産運用収入	1,087,000	1,057,497	△ 29,503
	②受託等収入	39,347,000	43,253,000	3,906,000
	③雑収入	563,000	850,894	287,894
	④有価証券償還収入	0	2,231,669	2,231,669
	法人会計当期収入合計	40,997,000	47,393,060	6,396,060
	①管理費	33,712,000	40,289,699	6,577,699
	②特定資産取得支出	133,000	209,712	76,712
	③予備費	10,000,000	0	△ 10,000,000
	法人会計当期支出合計	43,845,000	40,499,411	△ 3,345,589
	法人会計当期収支差	△ 2,848,000	6,893,649	9,741,649
	当期収入合計	1,453,009,000	1,473,952,199	20,943,199
	当期支出合計	1,488,615,000	1,463,333,734	△ 25,281,266
	当期収支差	△ 35,606,000	10,618,465	46,224,465
	前期繰越収支差額	38,960,000	43,890,298	4,930,298
	次期繰越収支差額	3,354,000	54,508,763	51,154,763

